

# 一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号 10
	令和 3年 8月 26日
	午前・午後 10時 30分

議会名	令和 3 年 第 5 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 12 番	木村 久雄	
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ <input type="checkbox"/> 教育長 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	<input checked="" type="checkbox"/> あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) <input type="checkbox"/> なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
<b>1. 災害対策について</b> (1) 太陽光発電設備について	<p>①中山間地域における太陽光発電設備の設置の際の切土及び盛土について</p> <p>『佐野市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和条例施行規則』の第10条第4項第1号には、「事業区域内において、切土、盛土等の造成を行う場合は、当該造成が事業区域への進入路、排水施設等の設置のための必要最小限度の範囲のものであること」と明記されている。</p> <p>しかしながら、中山間地域における太陽光発電設備の設置に関しては、事業区域内であれば、切土及び盛土が事業区域の全域におよぶものとするが、この点については、本市はどのように考え、どう捉えているのか、その見解を伺いたい。</p> <p>②中山間地域における太陽光発電設備の設置の際の雨水対策について</p> <p>中山間地域における太陽光発電設備の設置の際の雨水対策として、調整池があるが、経年による土砂の堆積を考慮すると、その機能は次第に低下するものとする。</p> <p>ゆえに、そのような状況になった場合、事業者側へどのような指導をされているのか。行っていくのか、その点を伺いたい。</p>		

<p>(2) 気象防災アドバイザーについて</p> <p>(3) 盛土について</p> <p>(4) ペット同行避難について</p>	<p>③ <u>土砂災害警戒区域内における太陽光発電設備の設置について</u></p> <p>土砂災害警戒区域内における太陽光発電設備の設置は、土砂災害の発生確率を高め、災害対策上の懸案となると考えるが、本市はこのことについて、どのように考えているのか。</p> <p>① <u>気象防災アドバイザーの活用について</u></p> <p>近年の異常気象を考慮すると、気象防災アドバイザーを活用し、地域の防災力を向上させることは、有益な手段と考える。</p> <p>ゆえに、本市としては、この気象防災アドバイザーの活用について、どのように考えているのか、伺いたい。</p> <p>② <u>講習会の開催について</u></p> <p>気象防災アドバイザーの方による講習会を開催し、本市の地域防災力の向上を図れないものか、伺いたい。</p> <p>① 本市には、建設残土が盛土として使用されている場所は存在するのか、現時点の状況について伺いたい。</p> <p>① <u>ペット同行避難の現状について</u></p> <p>本市には、ペット同行避難が可能な避難所はあるのか、本市におけるペット同行避難の現状について伺いたい。</p> <p>② <u>ペット同行避難の今後について</u></p> <p>『災害時におけるペットの救護対策ガイドライン』によると、同行避難の推進は「必要な措置」とされている。今後の展望について伺いたい。</p>
--	---